

2020 年 生活経営学部会 夏期セミナー・総会報告 プログラム

ご案内

以下の要領で、2020 年生活経営学部会夏期セミナー（自由論題報告・公開セミナー）・総会報告を開催いたします。

多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ロスト・ジェネレーション世代と持続可能なコミュニティ形成

～生活経営からのアプローチ～

日 時： 2020 年 8 月 27 日（木） 10：00～16：00

方 法： Zoom によるオンライン開催

参加費： 無 料

* 一般参加者（部会員以外）は公開セミナー（基調講演）のみ参加できます。

公開セミナーは、一般社団法人日本家政学会の活動助成を受けて開催します。

一般社団法人 日本家政学会 生活経営学部会

生活経営学部会事務局

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地

東京家政学院大学現代生活学部

現代家政学科 上村協子研究室内

TEL 03-3262-2763

E-mail: jshe-frm@jshe-frm.jp

ホームページ <http://jshe-frm.jp/>

生活経営学部会 50 周年記念セミナー開催にむけて

(一社)日本家政学会 生活経営学部会
部会長 上村協子

(一社)日本家政学会生活経営学部会は、50 周年という節目の時期をむかえた 2020 年の夏期セミナーにおいて、オンライン開催という新しい試みを行います。

セミナー会場校として予定していた「お茶の水女子大学」を zoom の拠点として、自由論題発表・総会・公開セミナー(部会員以外は基調講演のみ)を開催いたします。

企画担当の常任委員を中心に対面式ではないオンラインセミナーを 1 日に集約して行う方法を検討し、各地区役員へのご協力を呼びかけ、このようなプログラムを公開できることになりました。

さて、家庭経営学部会(1997 年生活経営学部会に名称変更)として 1970 年に発足した本部会は、10 周年『「日本型福祉社会」と家庭経営学』、20 周年『21 世紀のライフスタイル』、30 周年『福祉環境と生活経営』、40 周年『暮らしをつくりかえる生活経営力』と歴史の中で蓄積した成果を刊行して、その時々の問題意識と研究成果を世に問うてきた半世紀の歴史をもちます。

生活経営学部会 50 周年セミナーでは「持続可能なコミュニティ」形成の課題・展望について生活経営の視点から探究することを目指します。

基調講演者、宮本みち子氏は、生活経営学部会長経験者であり、40 周年記念出版の「序 生活経営がとらえる現代生活の枠組み」において、「家族の生活は、いまや持続可能性を失いつつある。それに変わる公平性と公正性のある暮らしの実現のためには、新たな生活経営モデルを創造しなければならないだろう」と提起されています。

シンポジウムでは 50 周年記念出版『持続可能な社会をつくる生活経営学』(朝倉書店)をもとにして編集委員長久保桂子氏、大風薫氏が発言されます。

持続可能な学会・部会運営にむけて、2020 年はこのようにチャレンジのセミナーとなりました。次なる半世紀に踏み出すために、このタイミングでオンラインセミナーを開催できる意義は大きく、多くの会員に参加いただくことでさらに意義は広がると考えております。

会員のみなさまは 2020 年 8 月 27 日のセミナーに、お住いの地域からご参加頂けます。新しい試みの部会 50 周年の夏期セミナーご参加いただきたく、お待ちしております。

テーマ ロスト・ジェネレーション世代と持続可能なコミュニティ形成 ～生活経営からのアプローチ～

趣旨

2018・19年度の夏期セミナーでは、「人生100年時代の生活経営」をテーマに、日本の各地域における主に高齢期のコミュニティ形成の実例に焦点を当てた。しかし、「持続可能な」コミュニティ形成という視点にたったときに、30代～40代にあたる世代が、これらのコミュニティに対して、あまりコミットしていない実態がうかがわれた。さらに、7040/8050問題と称される、老親に生活の依存をする中年期世代の存在が昨今、社会的課題としてクローズアップされている。この状況は、就職氷河期を体験したロスト・ジェネレーション世代の問題とも複雑に絡み合っている。また、昨今の「新型コロナウイルス」による影響から、ロスト・ジェネレーション世代にもこれまでの暮らし方を転換せざるをえない事態が進行している。

そこで、今年度の夏期セミナーではロスト・ジェネレーション世代が直面している社会経済的問題とコミュニティ形成・セーフティーネットの形成との関わりに焦点を当て、宮本みち子氏を基調講演者にお迎えする。

シンポジウムでは、宮本氏の基調講演を踏まえ、生活経営学部会50周年記念出版『持続可能な社会をつくる生活経営学』をもとに、これからの「持続可能なコミュニティ」形成の課題・展望について生活経営の視点から探究したい。

<日 程>

8月27日（木）午前の部

10:00～11:00 自由論題報告

- ①高齢期の生活の充実と余暇活動 —フラダンスを事例として—

伊佐地 由梨（お茶の水女子大学（院生））

- ②価値共創プロセス視点からみる中山間地域の文化・社会的企業活動の展開

粕谷 美砂子（昭和女子大学）、瀬沼 頼子（昭和女子大学）

11:00～12:00 総会報告

（休 憩）

8月27日（木）午後の部

公開セミナー：ロスト・ジェネレーション世代と持続可能なコミュニティ形成
～生活経営からのアプローチ～

13:00～13:05 開会挨拶 生活経営学部会部会長 上村 協子（東京家政学院大学）

13:05～13:15 趣旨説明 渡瀬 典子（東京学芸大学）

13:15～14:30 基調講演
ロスト・ジェネレーション世代と持続可能なコミュニティ形成
宮本 みち子氏
（放送大学／千葉大学名誉教授）

14:30～16:00 シンポジウム 司会 斎藤 悦子（お茶の水女子大学）・渡瀬典子

14:30～15:10 生活経営学部会 50 周年 記念出版『持続可能な社会をつくる生活経営学』
をもとに

久保 桂子（和洋女子大学）

大風 薫（お茶の水女子大学）

15:10～15:25 休憩

15:25～15:55 総括討論

15:55～16:00 閉会の辞

基調講演者 宮本 みち子氏（放送大学／千葉大学名誉教授）

専門は、家族社会学、若者の社会学。若年層における失業者・フリーター問題、生活困窮者、貧困問題、社会的な孤立等の問題について、長年研究に尽力されてきた。また、国及び地方自治体の子ども・若者政策の立案や、全国の若者支援団体の活動に関与され、内閣府子どもの貧困対策検討会座長、内閣府子ども・若者育成支援推進点検・評価会議座長、労働政策審議会委員、社会保障審議会委員、一億総活躍国民会議議員、中央教育審議会委員等を歴任された。

著書には、『若者が無縁化する』（ちくま新書）『若者が《社会的弱者》に転落する』（洋泉社）『下層化する女性たち—仕事と家庭からの排除と貧困』（勁草書房）『すべての若者が生きられる未来を—家族・教育・仕事からの排除に抗して』（岩波書店）等がある。